

令和6年度ジャパンフラワー強化プロジェクト推進事業
サルスベリのひこばえ発生抑制技術の検討

令和7年3月31日 報告者 中島

標記の実証を行いましたので概要を報告します。

実施日時：令和6年11月～令和7年3月

実施場所：藤沢市

【概要】

1 方法

(1) 供試品種

サルスベリ ‘ディアルージュ’ 9年生樹

(2) 試験場所

藤沢市生産農家圃場

(3) 試験区

処理別：資材3種 日本ワイドクロス 防草アグリシート
小泉製麻 緑化マット
早瀬工業 緑化杉テープ

無処理区

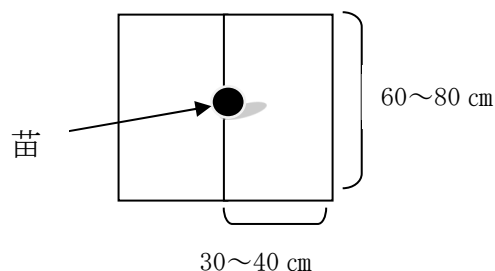
樹齢別：9年生樹（圃場定植7年） 計4区

規模 9年生樹1区4本

(4) 耕種概要

露地圃場において、定植後7年の育成中苗に資材区は各資材を株元に設置する。

設置方法：株元にマットを2枚両側から合わせて敷く。



(5) 調査項目

ひこばえ発生状況は発生本数を、生育状況は樹高、幹径及び生鮮根量を調査。

2 スケジュール

(1) 事前検討会

実施日：8月22日、9月18日

場 所：生産農家ほ場

出席者：生産者、普及指導部担当者

概 要：設置場所及び設置区の決定

(2) 圃場設置

実施日：12月5日

不織布等設置

(3) 調査期間

実施日：12月～3月

生育調査：12～3月

(4) 中間検討会

実施日：3月14日

場 所：生産者ほ場

出席者：生産者、普及指導部担当者

概 要：ひこばえ発生状況確認等

3 結果

神奈川県では県育成のうどんこ病抵抗性品種の生産支援を行ってきた。このうち、ディアルージュはひこばえの発生が多く、栽培中も植栽後も管理労力を増加させている。そこで、不織布等により簡易に育苗中のひこばえの発生を抑える方法を検討する。

異なる3種類の不織布を株元に敷き、ひこばえの発生状況を確認。3月時点ではまだひこばえが発生していないため、継続して調査を行う。

4 実証後の収穫物の取り扱い

実証終了後は試験等販売を行わず廃棄するため、以下の通り適切に処分する。

- ・当該実証における収穫物は、実証終了後焼却、土壌還元等により廃棄する。

【写真】

